

中外製薬株式会社

広報 IR 部

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

TEL: (03) 3273-0881

FAX: (03) 3281-6607

E-mail: pr@chugai-pharm.co.jp

URL: http://www.chugai-pharm.co.jp



Roche ロシュグループ

2008年4月2日

各 位

欧州における販売拠点の体制強化について

中外製薬株式会社 [本社：東京都中央区／社長：永山 治] (以下、中外製薬) は、欧州におけるマーケティング活動のさらなる充実・強化のために、欧州販売拠点の組織運営体制の見直しを行いましたのでお知らせいたします。

現在、中外製薬の欧州における販売体制は、1997年12月、イギリスに設立した Chugai Pharma Marketing Ltd. (以下、CPM) が欧州全体を所管する営業統轄会社として、イギリス、フランス、ドイツの3カ国の販売拠点である Chugai Pharma U.K. Ltd.、Chugai Pharma France S.A.S.、CHUGAI sanofi-aventis S.N.C.、Chugai Pharma Marketing Ltd. Germany Branch を設け営業活動を展開しています。当該国におけるこれまでの販売製品は、G-CSF 製剤「Granocyte[®]」ならびに胃炎・消化性潰瘍治療剤「Antepsin[®]」(イギリスとアイルランドにおいて販売) であり、その業績は順調に推移してきました。この度、これまで築き上げてきた欧州でのビジネス基盤を活かしつつ、さらなるマーケティング活動の充実・強化を目的として、営業統轄機能をもつ CPM の取締役社長に、これまでの日本人代表者に代わって Chugai Pharma France S.A.S. の代表者である Alain Clergeot が就任しました。Clergeot の欧州ビジネスに関する知識・経験および人的ネットワークを十分に活かすことによって、これまで以上に当該国の医療環境を高度に把握・分析し、プロアクティブな営業体制が強化されることを意味します。今回の体制見直しは、今後の海外戦略において「Granocyte[®]」の価値最大化に向けたより積極的なマーケティング活動を行う上で重要な施策と言えます。

また、F. ホフマン・ラ・ロシュ社 [本社：スイスバーゼル市／CEO：セブリン・シュワン] (以下、ロシュ) は、2007年11月に当社が創製したヒト化抗ヒト IL-6 レセプターモノクローナル抗体「アクテムラ[®]」(日本における販売名) について、関節リウマチを適応症とした承認申請を欧州で行いました。承認後は、中外製薬が販売拠点を有するイギリス、フランス、ドイツにおいて両社で共同販促を行うことになっています。

CPM は、新たな組織運営体制により「アクテムラ[®]」の円滑な市場導入活動を進め、欧州におけるロシュとのパートナーシップをより強固なものとすることによって、さらなる発展を期する所存です。

以上

【ご参考】

「Granocyte[®]」について

「Granocyte[®]」[一般名：レノグラスチム（遺伝子組換え）]は、中外製薬が開発した遺伝子組換え型ヒト顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）製剤で、主ながん化学療法の副作用による好中球減少症に対する支持療法に使用されています。2007年12月現在、日本を含め世界74カ国で承認されており、日本では「ノイトロジン[®]」の名称で販売されています。

「Antepsin[®]」について

「Antepsin[®]」は、中外製薬が合成・開発した胃炎・消化性潰瘍治療薬「スクラルファート」のイギリスとアイルランドにおける販売名です。2008年1月現在、日本を含め世界56カ国で販売されており、日本では「アルサルミン[®]」の名称で販売されています。

「アクテムラ[®]」について

「アクテムラ[®]」[一般名：トシリズマブ（遺伝子組換え）]は、日本で創製された初めての抗体医薬品として大阪大学と中外製薬で開発されたヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体です。日本では、2005年6月より世界初のキャッスルマン病治療薬として販売を開始し、2006年4月には「関節リウマチおよび全身型若年性特発性関節炎」の適応症で効能追加の申請を行っています。海外では、中外製薬とロシュの共同開発により「関節リウマチ」を適応症として2007年11月に米国、欧州で申請を行っています。これまでに中外製薬では、「アクテムラ[®]」の全世界への供給に対応すべく、宇都宮工場に抗体医薬品の生産のために、約150億円の設備投資を行いました。